

第四次葉山町総合計画基本構想  
町民ワーキンググループ  
活動報告書

平成 25 年 8 月  
葉山町

# 目次

第1章	はじめに	1
第1節	町民ワーキンググループとは	1
第2節	会議の経過	2
1	第1回会議	2
2	第2回会議	3
3	第3回会議	4
4	第4回会議	5
5	町長への報告会	5
第2章	葉山町の将来構想に関する意見	6
第1節	まちづくり	7
(1)	都市整備（町並み・公園など）	7
(2)	交通	9
(3)	観光	12
(4)	産業活性化（農業・漁業・商工業など）	14
第2節	暮らしづくり	17
(1)	自然環境	17
(2)	ごみ処理・生活排水処理	20
(3)	安全・安心	22
(4)	保健・医療・福祉	24
第3節	ひとつづくり	27
(1)	葉山町の強みは？	27
(2)	葉山町の弱みは？	30
(3)	強みを伸ばし、弱みを改善する取り組みは？	33
(4)	住民が行えること・行いたいこと	36
参考資料		37
1	町長あいさつ 要旨	37
2	「町の現状や取り組み」に関する説明資料	39
3	講義「これからの地方自治」 要旨	44
4	第2回会議のグループワークの結果概要	53
5	「意見書」検討の際の意見交換概要	68
6	第3回会議のグループワークの結果概要	70
7	町長への報告会の概要	78
8	町民ワーキンググループ実施要綱	80
9	町民ワーキンググループ参加者名簿	81



## 総合計画ってなんだろう？

市町村における「まちづくりの最も基本となる計画」といえるもので、その地域における行財政運営の長期的な指針となる、町政運営の基本となる計画のことです。

## 『第四次葉山町総合計画基本構想 町民ワーキンググループ』とは？

これからの町の将来像を話し合っていたいただき、これからつくる総合計画の基本構想策定の参考にさせていただくための会議です。



本報告書は、「第四次葉山町総合計画基本構想町民ワーキンググループ」の活動の概要をまとめたものです。

「第1章」では、同ワーキンググループの設置の趣旨や、会議の経過を掲載しています。

「第2章」では、同ワーキンググループがまとめた「葉山町の将来構想に関する意見書」の内容を掲載しています。

「参考資料」では、各会議の詳細な資料や、参加者の名簿等を掲載しています。

# 第1章 はじめに

## 第1節 町民ワーキンググループとは

「第四次葉山町総合計画基本構想町民ワーキンググループ」（以下、「町民ワーキンググループ」と略します）は、平成27年度を初年度とする「第四次葉山町総合計画基本構想」の策定過程における町民参画の場として、葉山町が設置した組織です。

平成25年4月に、住民基本台帳より無作為で抽出した満20歳以上の町内在住者1,500人に参加依頼の文書を送付して参加者を募集し、日曜日の開催にもかかわらず、50人の方にご参加いただきました。

### 参加者の構成について

「町民ワーキンググループ」の構成は、男性が34人、女性が16人で、年齢層は、50・60代が多いものの、最年少が20歳、最高齢が78歳と幅広い層の参加がありました。また、居住年数も10年以下の人が4割を占め、居住年数が長い人も短い人も入り混じった構成となりました。

性別	人数
男性	34人
女性	16人

年齢区分	人数
20～29歳	4人
30～39歳	7人
40～49歳	8人
50～59歳	12人
60～69歳	12人
70歳以上	7人

居住年数	人数
1～5年	13人
6～10年	7人
11～20年	12人
21～40年	12人
41年以上	6人

## 第2節 会議の経過

### 1 第1回会議

第1回会議は、平成25年5月26日に、福祉文化会館大会議室で開催しました。町長あいさつの後、これまで、地域福祉計画の策定をはじめ、葉山町の施策に有識者の立場から助言をいただいていた、県立保健福祉大学の臼井正樹教授から、「これからの地方自治 ～地方自治の担い手は、地域住民～」と題した講義を受けました。その後、町企画調整課長から、町の現状や取り組みについて説明を行いました。

最後に、第2回会議以降のグループワークに備え、まちづくり・暮らしづくり・ひとづくりの3グループへのグループ分けを行いました。グループ分けは、会場内で挙手により希望をとる形で行いました。

#### 第1回会議

	日時・場所	内容
第1回	5月26日(日) 13:00～15:00 場所：福祉文化会館大会議室	①講義 「これからの地方自治 ～地方自治の担い手は、地域住民～」 講師：県立保健福祉大学保健福祉学部 社会福祉学科長 臼井正樹 教授 ②町の現状や取り組みについて ③グループ分け

臼井教授の講義の様子



## 2 第2回会議

第2回会議は、6月9日に、教育総合センター研修室で開催しました。

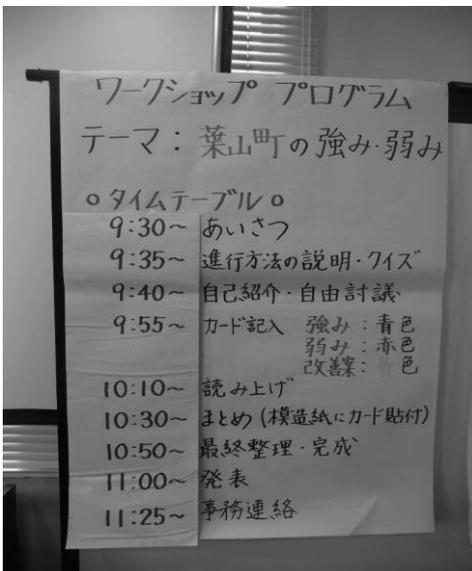
まちづくりグループは9時30分から、暮らしづくりグループは13時から、ひとづくりグループは16時から開始し、それぞれ、グループ内で5～6人単位の班を構成し、KJ法で班ごとに①「葉山町の強み」、②「葉山町の弱み」、③「強み」をさらに伸ばし、「弱み」を改善するための取り組みを討議し、会の最後に各グループの代表者が発表しました。

### 第2回会議

	日時・場所	内容
	6月9日(日)	
第2回	まちづくりグループ 9:30～11:30	グループワーク(KJ法ワークショップ) ～ 「葉山町の強み」を伸ばし、 「葉山町の弱み」を改善するためには? ～
	暮らしづくりグループ 13:00～15:00	
	ひとづくりグループ 16:00～18:00	
	場所:教育総合センター研修室	

### グループワークの様子

#### ワークショップのプログラム



#### 「強み」「弱み」の検討



#### 班ごとに発表



KJ法とは・・・カード(付せんを使用)に意見を書き、模造紙の上で分類・とりまとめを行うグループワークの方法。KJとは発案者の川喜田二郎氏のイニシャルである。

ワークショップとは・・・ワークは「作業」を、ショップは「場」を意味し、参加者が主体的に活動する会議や講座の形態である。

### 3 第3回会議

第3回会議は、6月23日に、教育総合センター研修室で開催しました。

まちづくりグループは9時30分から、暮らしづくりグループは13時から、ひとづくりグループは16時から開始し、それぞれ、前半1時間は、第2回会議の結果をもとに事務局で作成した「葉山町 将来構想 提言書」の素案を検討し、後半1時間は、KJ法で班ごとに「住民が行えること・行いたいこと」を討議し、会の最後に代表者が発表しました。

前半1時間の検討の中で、まちづくりグループ、暮らしづくりグループでは、後日行う予定の「町長への報告会」の出席者（グループの代表者）を互選により選出するとともに、後半1時間で実施したグループワークの結果の「葉山町 将来構想 提言書」への反映について、グループの代表者に一任することで了承されました。

一方、ひとづくりグループでは、前半1時間の検討の中で、「葉山町 将来構想 提言書」の素案について、「提言」という言葉の使い方、素案のまとめ方などで意見が分かれたため、予備日として予定していた6月30日に第4回会議を開催することとしました。

#### 第3回会議

	日時・場所	内容
第3回	6月23日（日） まちづくりグループ 9：30～11：30 暮らしづくりグループ 13：00～15：00 ひとづくりグループ 16：00～18：00 場所：教育総合センター研修室	グループワーク結果をもとに作成した「葉山町 将来構想 提言書（素案）」の検討 グループワーク（KJ法ワークショップ） ～ 住民が行えること・行いたいこと～

提言書（素案）の検討の様子



## 4 第4回会議

6月30日に、ひとづくりグループのみ、「葉山町 将来構想 意見書」の案をもとに、第4回会議を開催しました。

「葉山町 将来構想 意見書」の案は、第3回会議で使用した「葉山町 将来構想 提言書」の素案に対して、表紙や本文中に出てくる「提言」の言葉を「意見」に換えるとともに、ひとづくりグループの該当部分のとりまとめ方を「人材」をキーワードに大幅に改定を加えたものです。

事務局から、第3回会議におけるひとづくりグループでの意見をふまえて改定案を作成し、まちづくりグループ、暮らしづくりグループの代表者とも調整を行い、その了承が得られていることを説明した上で、参加者一同で、改定案を検討し、これを町長への報告書とすることを会議で了承しました。

また、後日行う予定の「町長への報告会」の出席者（グループの代表者）を互選により選出しました。

### 第4回会議

	日時・場所	内容
予備日 (第4回)	6月30日(日) ひとづくりグループ 10:00~12:00 場所: 教育総合センター研修室	「葉山町 将来構想 意見書(案)」の検討

## 5 町長への報告会

7月7日に、6人の代表者が町長を訪問し、「葉山町 将来構想 意見書」を手渡すとともに、「町民ワーキンググループ」の活動を報告し、町長と意見交換を行いました。

### 町長への報告会

	日時・場所	内容
報告会	7月7日(日) 町長への報告会 9:00~10:30 場所: 町長室	代表者6人による町長への報告と意見交換